

最新情報を知りたい！

欧州における安全性試験の現状

2024年7月3日16:00-17:00（日本時間）

創薬に加え、化学・農薬・化粧品・香料等の分野でも最大限に重要視されている新規開発化合物の安全性評価。動物実験に大きく依存している安全評価に対し、欧州では保健当局が実験動物を用いない新規の安全性試験（new approach methods - NAM）の採用を行っています。

その採用プロセスの段階において、保健当局と産業界が同じテーブルで議論を重ねるという透明性の高いプロセスを通して、新規の手法を採用することが重要となっています。

本セミナーでは、Toxys社のリーダーシップチームを演者に迎え、最新の欧州における安全性試験の現状について解説してもらいます。欧州（オランダ）に拠点を置くToxys社は、細胞を用いた遺伝毒性、発生毒性等の手法を開発、大手製薬会社や化粧品会社との実証実験を重ね、規制当局への新規手法の提案等を積極的に行っています。

ファシリテーターは、LINK-Jサポーターでもある
BIOSPIREの松永昌之が務めます。
多くの方のご聴講をお待ちしております。



講師紹介

パウラ ヴァン ロッサム
Paula Van Rossum
Toxys社 最高ビジネス責任者



ギエル・ヘンドリックス博士
Giel Hendriks Ph.D
Toxys社の創設者兼CEO



Toxys

既存製品、新規開発化合物に対する細胞毒性、将来的な遺伝毒性など評価するオランダの企業。動物を使わず評価する高い技術を有する。

開発初期から中期の段階で評価依頼を受け「毒性」に関するポートフォリオを総合的に評価、開発継続の判断材料にするという独自の戦略も展開している。

参加のご登録

事前に参加登録をお願いいたします。参加費：無料

[参加登録はこちら](#)